

# 【畜産】の【高温】対策について

## <9月>

農業経営支援課

### 【酪農】

#### (1) 予想される被害状況

- ・ 乳牛の採食量低下
- ・ 乳牛の乳量低下
- ・ 乳牛の乳質の低下
- ・ 乳牛の受胎率低下

#### (2) 事前対策

- ・ 牛舎改善（風とおしの確保、直射日光の遮断、牛舎屋根散水）
- ・ 飼養密度の最適化（密飼いしない）
- ・ 新鮮な飲水の確保（水圧の確保、水槽の清掃）
- ・ 牛舎ファンの活用（牛体に適切に風を当てる）
- ・ 牛体の毛刈り、汚れ落とし（熱放散の促進）
- ・ ヒートストレスメーター（THI）の数値チェック
- ・ 畜舎カーテン等整備による雨の侵入防止

#### (3) 事後対策

- ・ 涼しい時間帯での飼料給与（早朝や夜間での給与）
- ・ 飼料の多回数給与（6－8回程度）
- ・ 油脂の利用（乾物摂取量低下によるエネルギー不足改善）
- ・ 重曹や酸化マグネシウムなどの緩衝材利用（ルーメンpH調整）
- ・ ミネラルの充足（ナトリウム、カリウム給与）
- ・ 熱射病を発症した場合は、直接牛に水をかけ、牛体を冷やす
- ・ 受精卵移植の活用（高温による卵子のダメージ回避）
- ・ 細断した良質な粗飼料を給与し、食欲回復

### 【肉用牛】

#### (1) 予想される被害

- ・ 肥育牛及び育成子牛の採食量の低下による増体の遅延

#### (2) 事前対策

- ・ ストレスメーター（THI）の数値チェック
- ・ 新鮮な水の確保（水圧の確保、水槽の清掃）
- ・ 送風機の活用（牛体送風）
- ・ 給与飼料の腐敗の防止と飼槽の清掃

#### (3) 事後対策

- ・ 飼料の多回給与
- ・ 重曹や酸化マグネシウムなどの緩衝材利用（ルーメンpH調整）
- ・ 肥育牛への消化酵素剤の投与
- ・ ミネラルの補給（ナトリウム、カリウム給与）

## 【養豚・養鶏】

### （１）予想される被害

- ・ ブロイラーの斃死率の上昇
- ・ 豚及び鶏の採食量の低下による発育低下と出荷遅延
- ・ 採卵鶏の産卵率の低下
- ・ 母豚の受胎率の低下

### （２）事前対策

- ・ 畜舎改善（風とおしの確保、直射日光の遮断、屋根散水・石灰塗布）
- ・ 換気扇、送風機、細霧装置等の活用
- ・ 避陰樹の植樹や寒冷紗の設置
- ・ 飼養密度の適正化（飼養密度を落とす）
- ・ 新鮮な水の確保と給水器の点検清掃（水量、水質、水圧）
- ・ 飼料の多回給与（特に採食量の多い分娩ストールの母豚）
- ・ 給餌ライン及び給餌機の点検清掃（飼料の腐敗とカビ発生の防止）

### （３）事後対策

- ・ ビタミン、ミネラルの補給
- ・ 豚では嗜好性の高いミルク（人工乳）の給与（練り餌給与を含む）